

あなたの声を町政に!!

現代社会から子供たちを守ろう!

平 川 敏 郎 議 員

問 現代社会におかれた子供の命を守る取り組みについて、通学路の調査・検討。心の教室相談員の配置。C（子供）A（暴力）P（防止）プログラム導入。以上3項目について問う。

答 （教育長）通学路の調査、検討については一学期にすべての学校を対象に通学路の調査を行い、安全点検を実施している。教育委員会として、①子供一人ひとりの登下校路の点検、②点検結果と対策について保護者への通知、協力依頼、③子供が登下校において一人になる場合の対策、④危険箇所の対策、⑤学校と地域の協力による対策会議の開催等の対策を講じるようすべての小中学校に指示した。心の教室相談員の配置は現在していない。



しかし児童生徒の心の相談活動の重要性から、本年度より児童生徒の臨床心理に関して、高度の専門的な知識、経験を有するスクールカウンセラーを1名、県事業で配置している。心の教室相談員の新規配置は今後必要性や教育相談体制の面等から、研究、調査を行う。CAP（キャップ）の導入については、昨年来小中校で6校実践事例がある。現在の子供たちを取り巻く社会は、安心して過ごせる状況ではないので事例を紹介したい。



交通指導を受ける子供たち

1. 子供を事件から守る為の具体的対策を 2. イベントを通じて町の活性化を

田 村 三 郎 議 員

問 先に同僚議員が同種の質問をしておりますが、やはり子供は町の宝であります。全国的に色々な対策を立てていますが町及び教育委員会としてもしっかりとした具体的対策を立てて頂きたい。

答 （教育長）平川議員と同種の質問のため割愛させて頂く。

問 11月12・13日、ルーラルゆうゆうフェスタが開催され、スタンプラリーの客だけでも7千人を超え収益についても400万円以上と聞いている。年配の人は、この種のイベントを生きがいにして、頑張っております。又県外からのお客さんは、「魚をもっと売るようにして欲しい。」という要望もありました。



よってこのようなイベントを増し、町の活性化を望むものである。

答 （町長）町としても負担金を出しているが予算の関係で厳しい面もある。しかし、関係機関と連携を計りながら、バックアップしていきたい。又、道の駅に魚の販売所を作る計画に、助成を考えている。



道の駅販売所